

プロジェクト研究 「主要国の農業政策・貿易政策の変化及びそれを踏まえた中長期的な世界食料需給に関する研究」

令和元年度 カントリーレポート 第1号

米国, EU (CAP), フランス, 英国, CETA, ロシア

目次

第1章 米国—米中貿易摩擦における大豆をめぐる状況と農村振興政策の概要—

(勝又健太郎)

1. 米中貿易摩擦における大豆の状況
2. 農村振興政策

第2章 EUの共通農業政策 (CAP) の現状及び今後の方向性における政治的要因等の検討—農産物貿易政策を中心に—

(羽村康弘)

1. はじめに
2. EU組織及び政策形成の目的及び背景事情
3. EU政策形成主体
4. 現行CAPに至るまでの改革
5. 現行のCAP及び今後のCAP改革の方向性
6. 環境政策とCAP
7. まとめ

第3章 フランス山岳地酪農における高付加価値化の条件—AOPチーズ, カンタルとコンテの比較から—

(須田文明)

1. はじめに
2. フランスの山岳地酪農の特徴と課題
3. 地理的表示チーズによる高付加価値化
4. 「コンテ・モデル」の展開
5. おわりに

第4章 英国—EU 離脱後の英国による貿易・移民・農業政策の新展開—

(桑原田智之)

1. 英国の EU 離脱に係る全体状況
2. EU 離脱後の英国の貿易政策
3. EU 離脱後の英国の移民政策
4. EU 離脱後の英国の農業政策
5. おわりに

第5章 EU・カナダ包括的貿易投資協定 (CETA) について—農産物貿易を中心として—

(鈴木栄次)

1. はじめに
2. CETA の経緯
3. CETA の概要
4. 暫定適用の意義
5. おわりに

第6章 ロシア—農産物の輸出促進と政策目標—

(長友謙治)

1. はじめに
2. 2019 年のロシア経済
3. 2019 年のロシアの農業生産・農産物貿易動向
4. ロシアの農業政策・2019-20 年の動き
5. おわりに